

わくわく 田底っ子

第7号

文責：校長 益永 一幸

6月は「いじめ根絶強化月間」

～いじめをみんなでなくしていこう～

学校集会での校長からの話

6月は「いじめ根絶強化月間」といって、熊本市全部の学校で、みんなでいじめをなくす取り組みをする月間です。自分を大切に、他の人も大切にすることで、みんなが安心して楽しい生活ができるようにしようということです。

ところで、どんなことが「いじめ」か、みなさん分かりますか。「殴る」「蹴る」はどうみても「いじめ」ですね。他にもあります。「友達の悪口を言う」「人の物を隠す」「無視する」「仲間に入れない」もすべて「いじめ」です。された人が嫌な気持ちになって悲しくなってしまうことは、すべて「いじめ」です。いじめは絶対に許されません。した人は、いじめをしていないと思っていても、気づかないうちに、された人が嫌な気持ちや悲しい気持ちになることもよくあります。

そこで、みんなにおたずねします。田底小学校には、「いじめ」はありますか。ここで、4月の「なかよしデーアンケート」の結果を出します。「困っていることや悲しいことはありますか。」の質問で、「困っている・悲しい思いをしている」人が5人いました。これはいじめで困っているということではありませんでした。次に、「困っていることや悲しい思いをしている人はいませんか。」の質問では、「いる」と答えた人が2人。「いない」と答えた人が42人。「分からない」と答えた人が53人でした。校長先生は、この結果を見てこう思いました。「いる」「いない」と答えた人は、周りの人のことをよく見ている人だなと思いました。でも、「分からない」と答えた人は、もちろん分かろうとしたけど「分からない」と答えた人もいると思います。それは見えにくいですが、いずれにしても、自分を大切にすることと同じように、周りのお友達のこともしっかり見て、分かろうとする「思いやりの心」を持って生活していくことが大事だと思いました。

そこで、田底小学校で「みんなで、いじめをなくす」ために、校長先生からみんなで取り組んでほしいことを2つ言います。

- ① 周りのお友達を大切に「思いやりの」言葉を増やそう です。
周りのお友達をよく見て、もし、悲しい気持ちになっているお友達がいたら、「思いやりの心」で進んで声をかけましょう。
- ② もしも、いじめられてつらい思いをしていると自分で感じたら、誰かに相談しましょう。
一人で悩まないでください。誰かが助けてくれます。

この2つに取り組んで、みんなで、いじめをなくし、楽しい田底小学校にしましょう。

インフルエンザ感染の防止のために、明日の防災フェアの「クロスロードクイズ」は、体育館での集合開催ではなく、各教室で分散してハイブリッド型の防災研修を実施します。